

平成29年度 卒業証書授与式を挙

平成29年度・第69回京都府立加悦谷高等学校卒業証書授与式が3月1日（木）午前10時から挙行されました。当日は、与謝野町長・山添藤真様をはじめ多くの御来賓、保護者の皆様に御出席いただき、厳粛かつ温かい卒業式を行うことができました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



“夢をつかめ” 加悦高から未来へ



119名の卒業生が担任の呼名に元気よく返事を行い、南部校長から各組の代表生徒に卒業証書が渡されました。

校長式辞では1964年の東京オリンピックから三大会連続で入賞を果たしたマラソンの君原健二選手に触れ、「ゴールが遠く諦めそうになっても、あと1キロ頑張ろう、あの電柱まで頑張ろう」という目標を身近なところに置いて最後まで走りきる君原選手の考え方を紹介し、これから様々な困難に立ち向かっていく卒業生たちに、「辛い時は小さな目標に切り換えて最後まで諦めないで進んでください。」とエールを送られました。

与謝野町長 山添藤真様からは、「努力した結果がたとえ思いどおりにならなくても、努力した過程の全てが宝物になります。一步一步夢に向かって邁進してください。」と御祝辞を頂きました。

また、PTA会長 家城功様からは「決して平たんな道ばかりではありませんが、それぞれの瞬間を全身で受け止め楽しんで過ごせば、必ず明るい道が開かれていきます。」と御祝辞を頂きました。



在校生送辞



卒業生答辞

生徒会長の水上聖博くん（2年・橋立中）の送辞の後、前田雄大くん（3年・江陽中）が卒業生答辞を述べました。前田くんは世界で活躍する同世代のスポーツ選手や将棋界での史上最年少の快挙に触れ、

同じ世代の若者に負けじとそれぞれの場所で一所懸命に努力し、挑戦し、新しい日本を担っていきたくと語りました。

式終了後、大型スクリーンを使って、3年間の思い出や保護者の方への感謝の言葉を映像で流しました。卒業生たちは時折笑顔を浮かべながら3年間の思い出を感慨深げに見ていました。



最後のホームルーム